

以下、本文-----

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

膵腫瘍の治療経過中に伴う分子サブタイプの変化の解明と、至適治療法の開拓に関する研究

1. 研究の対象

2015年1月1日から2022年12月6日までにおいて、当院の消化器内科および消化器外科で膵腫瘍の検体を採取され、治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

目的 下記の試料・診療情報等を利用し、治療中の膵腫瘍の分子サブタイプの変化について解明することを目的とした研究を実施するため、当院において膵腫瘍の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに膵腫瘍分子サブタイプに関する分析を行い、分子サブタイプごとにもっとも最適である治療方法について調べます。

方法（試料を利用する場合）この研究に使用する試料として、すでに保存されている項目3に記載する検体等を使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 試料：生検で採取された膵腫瘍等
- ・ 診療情報等：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像、心電図）等

4. 情報の提供先・提供方法

上記の試料・診療情報等は分子サブタイプ解明のために、当院(生命科学統合支援センター)で解析されます。

5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

東海大学医学部附属病院 (電話：代表 0463-93-1121)

研究責任者 消化器外科 永 滋教

問い合わせ担当者 消化器外科 永 滋教

-----以上